

二十歳の誓い

今、猛威を奮っているコロナウイルスは、私たちに多大な影響を与え続けています。私は、この長い自粛期間、目標や今自分のやっていること、そして毎日のオンライン授業や課題にも目的や意味が見えなくなっていました。考え出すとネガティブになり、1人では処理できないほどにブルーになる私が、人に会えない数ヶ月、ついには、一度に処理できるキャパを超過し、軽くパニックを起こすほどでした。思いがけず目にしたSNSによって、人と比べ、自分の限界を自分で作り上げ、理想に届かない自分に、また嫌気がさす。抜け出せない負のループ。このコロナウイルスは、私を言葉通りダメにしました。

しかし、自粛のムードが緩み、いっきに人の往来が増えると、人は繋がります。その波に乗って会いに行ったその人は、こう言うてくれました。「弱点をプラマイ0にする努力より、長所をプラス10にも100にもする努力の方がいいんじゃない?」。私は、幼い頃から、ほんの小さな疑問にはじまり、さまざまな問題意識を持ってきました。持ち前の観察眼で、見たくないもの、知りたくないこと、意味を持たないこと、それに疑問を抱き、重く受け取ってしまう。これは、ずっと私の短所であり、長所でもありました。それに気づいた私は、日々湧き上がる疑問に対して、考えたり、調べたり、追求することに長けているんだってことにやっと気づくことができました。

今、このコロナのなかで、実現したい未来があります。私は、10年以上ガールスカウトに所属し、今は、リーダーとして小学校低学年、高校生と活動しています。でも、いざ人の上に立つと、私の言葉で、仕草や行動で、傷つく人がいないかと正直怖いです。しかし、相手の気持ちを思い、上から目線ではなく、共に学び、支え合える「ヨコでつながる組織、社会の実現」が「私の理想」です。人に対する感受性が強い分、傷つきやすい人の支えになれる自分でありたいです。そのために生涯学び、知ること、そして自分自身から変わることに、変えていくことが今の私が夢に見る未来です。このことを、私の二十歳の誓いとさせていただきます。

令和3年1月11日 新成人代表 島津 花野